

CITY OF YOKOHAMA

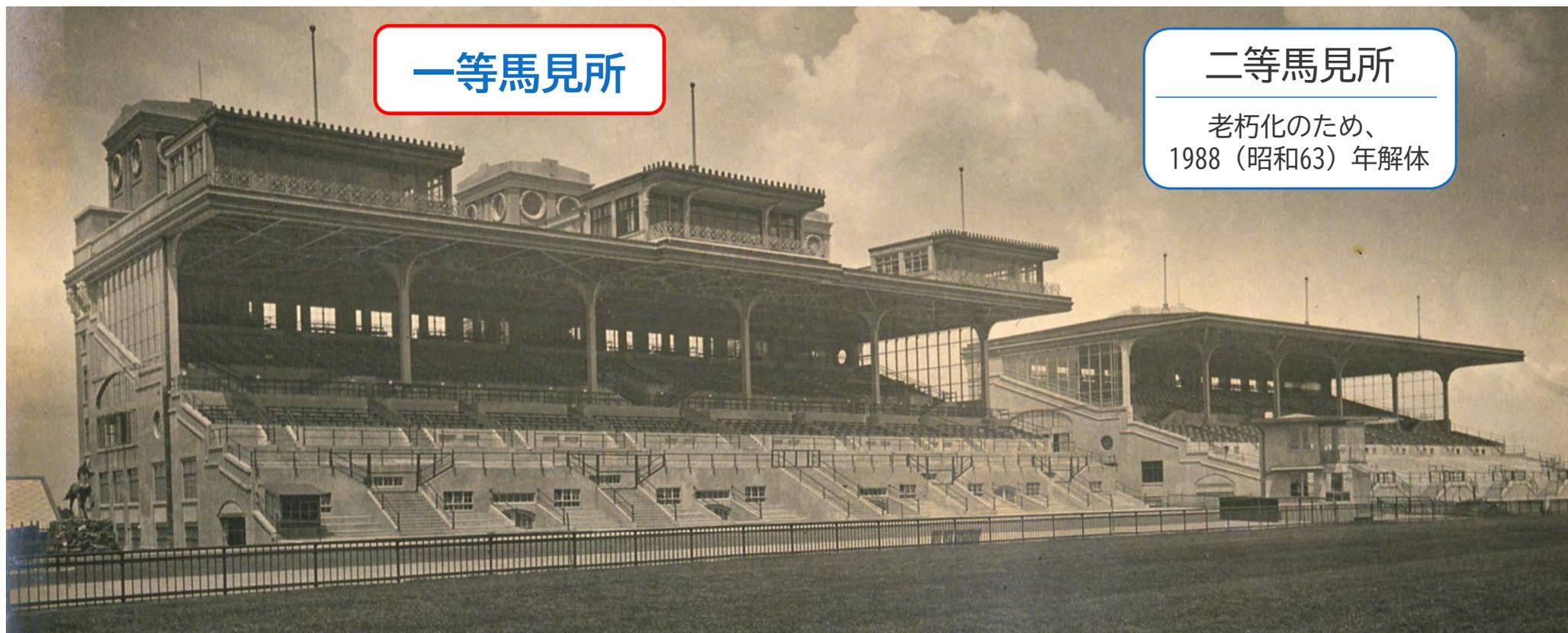
「旧根岸競馬場一等馬見所」を
横浜市認定歴史的建造物に認定し
保存活用します

2025年1月22日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

旧根岸競馬場一等馬見所とは

◆根岸森林公園（中区）内にある「旧根岸競馬場」の観覧施設



▲ 一等馬見所と二等馬見所（横浜開港資料館所蔵）

旧根岸競馬場一等馬見所とは

◆根岸競馬場

1866（慶応2）年：日本初の洋式競馬場として開設（公園開園：1977（昭和52）年）



▲ 根岸競馬場での春季競馬 1934（昭和9）年（馬の博物館所蔵）



根岸森林公園

画像©2022 Google, Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCOLandsat / Copernicus

旧根岸競馬場一等馬見所とは

◆一等馬見所

1929（昭和4）年完成：現存する日本最古の競馬場建築

競馬場名	一等馬見所		二等馬見所	
	竣工年	現 状	竣工年	現 状
1 根 岸	1929（昭和4）	○	1930（昭和5）	×
2 札 幌	1932（昭和7）	×	1936（昭和11）	×
3 函 館	1930（昭和5）	×	1935（昭和10）	×
4 新 潟	1928（昭和3）	×	1928（昭和3）	×
5 福 島	1918（大正7）	×	1929（昭和4）	×
6 中 山	1920（大正9）？	×	1920（大正9）？	×
7 東 京	1933（昭和8）	×	1933（昭和8）	×
8 京 都	1938（昭和13）	×	1938（昭和13）	×
9 阪 神	1935（昭和10）	×	1935（昭和10）	×
10 小 倉	1931（昭和6）	×	1931（昭和6）	×
11 宮 崎	1931（昭和6）	×	1931（昭和6）	×

▲昭和初期に存在した公認競馬場の馬見所の建築実態 『日本競馬史 第3巻』（日本中央競馬会総務部調査課編、1968年）
及び『競馬切手 HORSE RACING STAMP』ウェブサイト（<http://keibastamp.d.dooo.jp/>）などをもとに作成

旧根岸競馬場一等馬見所とは

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



画像©2022 Google, Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCOLandsat / Copernicus

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上7階建て
規模	高さ約29m、幅約61m、奥行約35m 延床面積：約5,000m ² （現在）



◀ 3階食堂部分



◀ 3、4階通路吹抜け部分

横浜の歴史を生かしたまちづくり

◆横浜には近代建築、西洋館、古民家などの魅力的な歴史的建造物が豊富に存在

◆歴史的建造物を「保存」だけでなく「活用」することで、横浜の個性と魅力を感じていただけるまちづくりを全国に先駆けて展開

(1988 (昭和63) 年 : 「歴史を生かしたまちづくり要綱」を施行)

◆特に価値が高い建造物を「横浜市認定歴史的建造物」として認定し、保存活用を推進 (認定開始 : 1988 (昭和63) 年度、認定件数 : 104件)



①赤レンガ倉庫 近代建築
(2001 (平成13) 年度認定)

②山手133番館 西洋館
(2020 (令和2) 年度認定)

③池谷家住宅主屋 古民家
(2023 (令和5) 年度認定)

認定の理由（評価のポイント）

① 開港の地・横浜の近代の歴史を証明する高い価値

◆日本初の洋式競馬が開催された
「根岸競馬場」の観覧施設

◆外国由来のスポーツ文化を
象徴する施設



絵葉書「横浜根岸競馬場」（横浜開港資料館所蔵）

認定の理由（評価のポイント）

2 極めて高い建築史的価値

- ◆各地のモデルとなった
日本初の鉄骨鉄筋コンクリート造
の競馬場建築
- ◆現存する日本最古の競馬場建築



南側のスタンド席

認定の理由（評価のポイント）

3 横浜の歴史的景観を形成する高い景観的価値

- ◆高台に立地する
特徴ある外観を持つランドマーク
- ◆一帯がかつて競馬場だった
歴史を伝える重要な建築物



北側の外観

今後の展開

- ◆昨年1月の能登半島地震での歴史的建造物の被害等を踏まえ、「新たな横浜市地震防災戦略」の取組の一つに位置づけ、耐震化を推進します
- ◆歴史的建造物ならではの魅力を活かし、根岸森林公園との一体の活用を含めて、周辺のまちづくりと合わせた活用の検討を進めます



(C) 横浜市観光協会